

## 事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別 障がい者・(児)  
事業所名（施設名） 風の工房

### 第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。  
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態  
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態  
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。</li> <li>■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。</li> <li>■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。</li> <li>■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。</li> <li>■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。</li> <li>■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。</li> </ul>	<p>○利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組みについては、平成30年度「風の工房」事業計画書の、職務【活動・余暇】事業の概要(1)「しごと（その人なりの過ごし方）」と「いきる（いばしょ・きもち・ルール）」を大切に利用されている方一人ひとりが自分のしたいことやできることを活かした作業や表現活動に取り組み、それぞれの夢につながるためにサポートする。と明記されており、尊厳を大切に支援の方向性が確認できました。</p> <p>○情報を伝える際、個々の利用者に合わせて絵カードやスケジュールボードを利用したり個々に説明したりなどし、理解しやすい方法を工夫し、自己決定しやすい環境を整えていました。</p> <p>○利用者個々への対応等については、職員間で検討し支援にあたっていました。</p>
		(2) 権利侵害の防止等	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 7 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集・提示して利用者に周知している。</li> <li>■ 8 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</li> <li>■ 9 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。</li> <li>■ 10 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。</li> <li>■ 11 権利侵害の防止等について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</li> <li>■ 12 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。</li> </ul>	<p>○利用者の権利侵害の防止等に関する取組みについては、法人の中に、人権倫理委員会が組織されており、重点目標①常に利用されている方の人権というものを意識しながら支援する。②権利擁護についての理解を深め、支援の改善・向上に努める。③人権倫理委員自らも各事業場で積極的に人権について学習を深めていく。と明記されていました。</p> <p>○法人で、権利侵害についての研修を県の出前講座を活用し実施された。この研修は、全職員が受講できるよう同一内容で、時間等をずらし3回実施されていました。</p> <p>○アート作品については、平成30年度「風の工房」事業計画書【アート】3. 具体的施策(2) 利用されている方の著作権や作品を適切に管理し保護していく環境を整える。①利用されている方やご家族の方の意向に沿う著作権・作品保護に関する書類等の見直しを、外部機関からの助言も求めながら行っていく。と明記されていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
	2 生活 支援	(1) 支援の基本	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 13 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。</li> <li>■ 14 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。</li> <li>■ 15 自律・自立生活のための動機づけを行っている。</li> <li>■ 16 生活の自己管理ができるように支援している。</li> <li>■ 17 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。</li> </ul>	<p>○自閉症スペクトラム障害で知的障害を伴う障害の方も多く利用されています。</p> <p>○平成30年度「風の工房」事業計画書【サービス提供】2. 重点目標(2) 支援に当たるスタッフが同じ目線で同じ方向性を持って支援できるように、個別支援計画の内容をスタッフ間でしっかり共有できるような仕組みを作っていく。と明記されていました。</p> <p>○創作活動において職員は、意識して自分のやり方を利用者に押しつけないよう心がけ支援にあたっていました。</p> <p>○片手しか使えない方に対しては、職員が片手で出来る方法を工夫し、利用者が主体的に取り組めるよう努めていました。</p>
			② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 18 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。</li> <li>■ 19 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別の配慮が行われている。</li> <li>■ 20 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。</li> <li>■ 21 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。</li> <li>■ 22 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。</li> </ul>	<p>○コミュニケーション能力が弱い利用者に対しては、好きな事や楽しい活動を通して信頼関係の構築を図っていました。</p> <p>○利用者の特性に応じたコミュニケーション方法は、日々の観察の中から見出ししたり、実際に写真などで可視化したり、表情観察や、yes・noを手を握って表現するなど、障がい特性に応じた伝え方が出来るように工夫し実践されていました。</p>
			③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 23 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。</li> <li>■ 24 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。</li> <li>■ 25 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。</li> <li>■ 26 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。</li> <li>■ 27 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。</li> </ul>	<p>○意思表出が難しい利用者の特性を考慮すると、意思確認が難しいことが推測されるが、職員は日頃の“何気ないかわりの中から、利用者の思いを汲むかわり”に心がけていました。</p> <p>○おやつ購入は利用者が直接店に行き、買う品物をその場で品定めし決め購入されました。</p> <p>○障害の重い利用者に対しては、マンツーマンの関わりで、ご本人の思いなどを引き出したり伝えたりしていました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 28 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動(支援・メニュー等)の多様化をはかっている。</li> <li>■ 29 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。</li> <li>■ 30 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。</li> <li>■ 31 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。</li> <li>■ 32 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。</li> <li>■ 33 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。</li> </ul>	<p>○行事等は利用者の要望等で内容が企画され、プチカラオケ大会やピクニック外出等が実施されていました。</p> <p>○刺激の敏感な方や外出が困難な利用者に対しては、工房内でそれぞれの皆さんが参加しやすい内容の活動が企画されていました。</p>
			⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 34 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。</li> <li>■ 35 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。</li> <li>■ 36 利用者の不適応行動などの行動障がいに関し適切な対応を行っている。</li> <li>■ 37 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。</li> <li>■ 38 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。</li> </ul>	<p>○利用者の障がいの状況に応じた適切な支援については、平成30年度「風の工房」事業計画【サービス提供】3. 具体的施策(3)のなかに、会議の時間等を有効活用しながら、支援スキルや専門性を高める機会を作っていく。必要であれば外部からの講師を招き研修を開催し、法人内の他事業所にも参加を呼び掛けていく。と明記されていました。</p> <p>○自閉症スペクトラム障害等の方に対しては、部屋をボードなどで仕切り個室化し落ちつける環境を整えていました。また、将来的にはノーマルな環境に慣れていってほしいという願いから、ボードの高さを徐々に低くしているというお話も聞け、実際にそのように取り組まれていました。</p>
	(2) 日常的な生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常的生活支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 39 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。</li> <li>■ 40 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。</li> <li>■ 41 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。</li> <li>■ 42 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。</li> <li>■ 43 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。</li> </ul>	<p>○食事は、配食サービスを利用していました。利用者、職員から嗜好調査を実施したり、年2回法人より栄養士が派遣され、献立や調理状態等の確認をし、その内容を職員で検討し、業者へ改善を求めています。</p> <p>○また利用者の特性に応じ、食事の時間をずらしたり場所を替えたり、苦手なメニューに対しては他のメニューを提供されたり、利用者に寄り添った支援がなされていました。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 44 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。</li> <li>■ 45 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。</li> <li>■ 46 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠(休息)できるよう生活環境の工夫を行っている。</li> <li>■ 47 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。</li> <li>■ 48 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。</li> </ul>	<p>○利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境については、平成30年度「風の工房」事業計画書【医療・食事】2. 重点目標 (3) 利用されている方が快適に過ごせるように、随時事業所内の気温調整を行う。(4) 事業所内を常に綺麗にする事を心がけ、掃除や物品の整理を行う。と明記されていました。</p> <p>○自閉症スペクトラム障害、特に感覚器官等が敏感な方の支援においては、建物を建てる時から、光や音、温度調整等に配慮した設計にしてあり、心地よく過ごせるための環境整備がなされていました。</p>
		(4) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 49 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。</li> <li>□ 50 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。</li> <li>■ 51 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。</li> <li>□ 52 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。</li> <li>■ 53 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。</li> </ul>	<p>○利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練の支援については、一日の活動の中に、動的な活動と静的な活動を取り入れ穏やかに過ごせる状況を確保しておりました。</p> <p>○取り組む活動は個性を尊重し、利用者個々の得意なことや好きな事を活動に導入し取り組んでいました。</p> <p>○利用者の聞き取り調査から、僕は袋を今作っている。将来的には革のショルダーバックを作りたいとい意欲も聞かれました。</p>
		(5) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 54 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。</li> <li>■ 55 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。</li> <li>■ 56 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。</li> <li>■ 57 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。</li> <li>□ 58 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</li> </ul>	<p>○利用者の健康状態の把握と体調変化時については、平成30年度「風の工房」事業計画書【医療・食事】重点目標の(1)ご家族。支援スタッフとの連携を図りながら日々の健康観察・バイタルチェックを行い、異常の発見に努めると明記されていました。</p> <p>○実際に、連絡ノート等で家族等から情報を得たり、日常的に利用者の表情や動き、排泄状況、食事摂取量等の確認を行い健康状態の把握につとめていることが確認できました。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	b)	<input type="checkbox"/> 59 医療的な支援の実施についての考え方(方針)と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 60 服薬等の管理(内服薬・外用薬等の扱い)を適切かつ確実にやっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 61 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 62 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法によりやっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 63 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。 <input type="checkbox"/> 64 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。	<p>○医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されているについては、法人で事故発生対応マニュアルが整備されており、事故発生時の対応手順が明確に記載されていました。</p> <p>○実際に職員の聞き取り調査からも、急病・怪我等の対応について、マニュアルの内容が把握できていることが確認できました。</p> <p>○服薬については、誤薬防止のためお渡しする際、薬袋に明記されたお名前を読みあげ、本人と薬の一致確認をしていました。</p>
	(6)	社会参加、学習支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 65 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 66 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 67 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 68 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。	<p>○利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習の支援については、人との関わりや社会参加が苦手な方については、作品展等を開催し、製作した作品を通して社会とのかかわりが構築されていました。また、その作品を見て工房へ足を運んでる方もおり、作品を通してのかかわりの広がりも確認できました。</p>
	(7)	地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 69 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。 <input type="checkbox"/> 70 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 71 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。 <input type="checkbox"/> 72 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 73 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。	<p>○利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習の支援について、地域生活の移行等は支援として行っていないが、関係事業所より相談したり協議することをケア会議で行なっています。</p> <p>○日中事業所活動の中で、グループホームや在宅生活をされ地域生活移行ができています。在宅生活の中で一層地域との関りが行えるよう事業所での支援の検討をお願いします。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
		(8) 家族等との連携・交流と家族支援	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 74 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。</li> <li>■ 75 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。</li> <li>■ 76 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。</li> <li>■ 77 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。</li> <li>■ 78 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。</li> <li>■ 79 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。</li> </ul>	<p>○利用者の家族との連携・交流と家族支援については、家族会が年4回開催され、環境整備や展示会のお手伝い研修会などの活動を行い、その都度懇親会を開催し交流を図っていました。</p> <p>○閉じこもりでなかなか工房へ来られない方について、工房の職員が自宅まで出向き支援している事例が確認できました。</p>
	3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	a) b) c)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 80 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援(個別支援)を行っている。</li> <li>□ 81 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動を組み合わせながら実施している。</li> <li>□ 82 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。</li> <li>□ 83 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。</li> </ul>	対象外
	4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	a) b) c)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 84 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。</li> <li>□ 85 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。</li> <li>□ 86 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。</li> <li>□ 87 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。</li> <li>□ 88 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。</li> <li>□ 89 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。</li> </ul>	対象外

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
			② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	a)	<input type="checkbox"/> 90 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。	対象外
				b)	<input type="checkbox"/> 91 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。	
				c)	<input type="checkbox"/> 92 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。	
					<input type="checkbox"/> 93 賃金(工賃)等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。	
					<input type="checkbox"/> 94 賃金(工賃)を引き上げるための取組や工夫を行っている。	
					<input type="checkbox"/> 95 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。	
			③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	a)	<input type="checkbox"/> 96 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大(職場開拓)に努めている。	対象外
				b)	<input type="checkbox"/> 97 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。	
				c)	<input type="checkbox"/> 98 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者と企業とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。	
					<input type="checkbox"/> 99 就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。	
					<input type="checkbox"/> 100 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。	
					<input type="checkbox"/> 101 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。	